



# 脊振ダムの概要

Outline of the SEFURI DAM



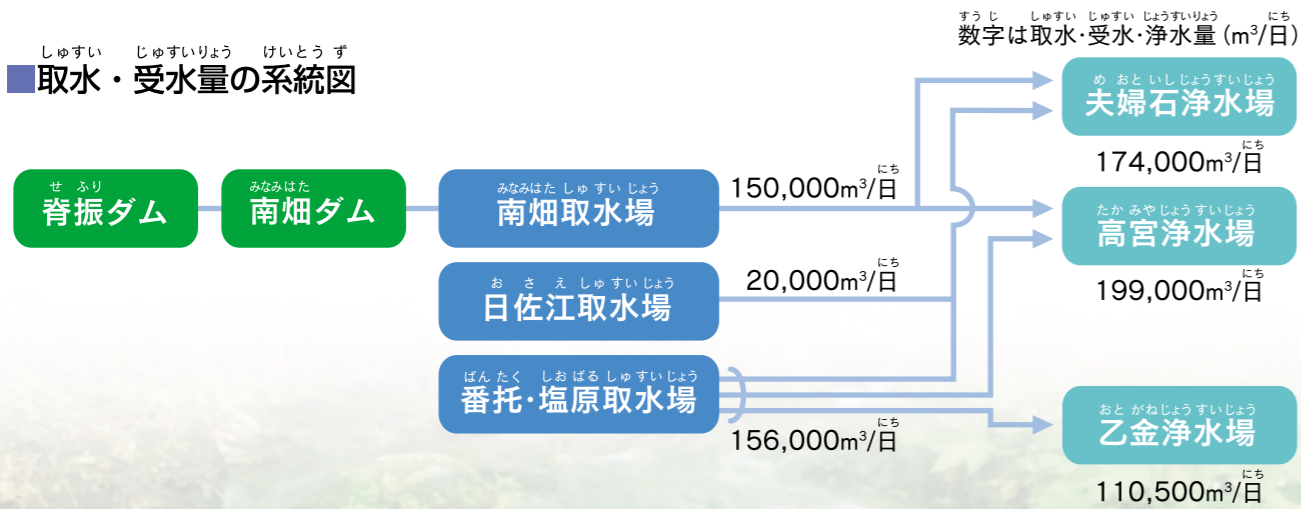
# ダムの諸元

Dimensions of the MINAMIHATA Dam & SEFURI Dam

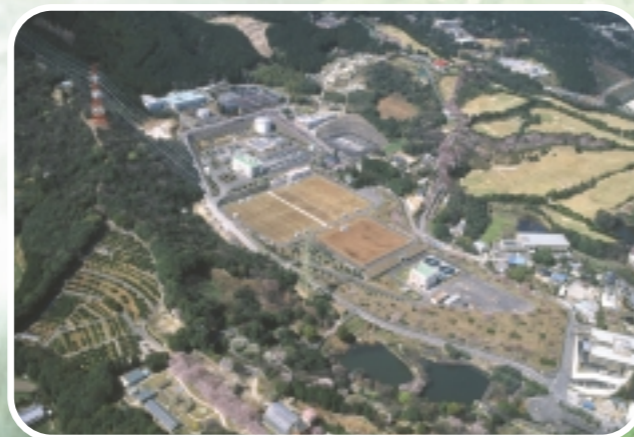
脊振ダムは、南畑ダムの上流約6kmの地点に建設された福岡市の上水道専用ダムです。このダムは、1970年から1976年までの6年の歳月と総事業費183億円をかけて建設され、南畑取水場から取水を行い高宮浄水場や夫婦石浄水場へ導水しています。また、南畑ダムの集水面積内に建設された関係で、南畑ダムからの無線設備による遠隔操作を行っています。



## 取水・受水量の系統図

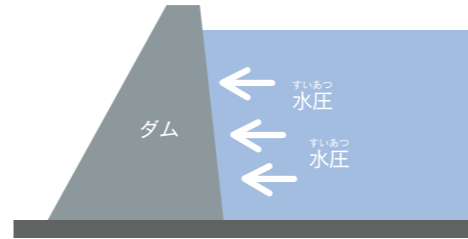


高宮浄水場

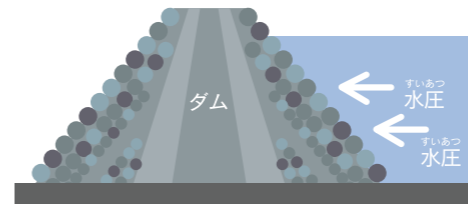


夫婦石浄水場

## 重力式コンクリートダム※1



## ロックフィルダム※2



ダムによって種類や目的が違うんだね！

## ダム本体

	南畑ダム	脊振ダム
水系名および河川名	那珂川水系那珂川	那珂川水系那珂川
ダムの形式	重力式コンクリートダム※1	ロックフィルダム※2
ダムの目的	洪水調節・水道・農水・発電	水道
堤高(ダムの高さ)	63.5m	43.0m
堤頂長(ダムの長さ)	220.4m	240.0m
堤体積(ダムの体積)	185,000m <sup>3</sup>	530,000m <sup>3</sup>

## 貯水池

	南畑ダム	脊振ダム
集水面積(水が集まってくる広さ)	22.0km <sup>2</sup> (27.5km <sup>2</sup> )	5.5km <sup>2</sup>
湛水面積(水のたまる広さ)	0.264km <sup>2</sup>	0.315km <sup>2</sup>
総貯水容量(水や土砂のたまる量)	6,000,000m <sup>3</sup>	4,500,000m <sup>3</sup>
有効貯水容量(水のたまる量)	5,560,000m <sup>3</sup>	4,390,000m <sup>3</sup>
平常時最高貯水位(平常時の最高水位)	標高274.6m	標高550.0m
夏期制限水位(夏期平常時の最高水位)	標高268.6m	—
最低水位	標高244.3m	標高525.0m
基本高水流量※3	毎秒320m <sup>3</sup>	—
計画高水流量※4	毎秒125m <sup>3</sup>	—



## 1 重力式コンクリートダム

ダム本体をコンクリートで作成し、その重さで水をせきとめる形式のダムです。地盤が固いところに適しています。



## 2 ロックフィルダム

ダム本体をコンクリートの代わりに岩石や土を積み上げて作ったダムです。コンクリートより軽いので地盤が弱いところでも適していますが、たくさん必要になります。



## 3 基本高水流量

基本高水流量とは、河川流域にダムや遊水池など洪水を調節する施設がない状態で流れる水量です。



## 4 計画高水流量

計画高水流量とは、基本高水流量とは反対に河川流域にダムや遊水池など洪水を調節する施設がある状態で流れる水量です。

※南畑ダムは、大雨時に毎秒320m<sup>3</sup>(基本高水流量)流入してくる洪水の内、毎秒195m<sup>3</sup>をダムで貯留し、残りを下流へ毎秒125m<sup>3</sup>(計画高水流量)放流することで、下流河川から水があふれるのを防ぐ計画になっています。

